

## 令和3年の年頭のご挨拶

国立国会図書館長  
吉永 元信



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
新たな年を迎え、国会議員の皆様のご理解ご支援に改めて感謝申し上げます。

国立国会図書館は、昭和23年の開館以来、「真理がわれらを自由にする」の確信に立ち、両議院、委員会及び議員の国会活動の補佐を行っております。年頭に当たり、この当館設置の理念に改めて思いをいたし、国会サービスの一層の充実に努めてまいりたいと存じます。引き続きご支援とご指導をお願い申し上げます。

議会開設130周年を迎えた昨年は、また、新型コロナウイルス感染症の脅威に世界が直面した年でもありました。この未だ解明の途上にある病から、生命と健康を守り、経済・社会の活動を回復し発展させることは、我が国を含む現在の世界各国にとって、最大の国政課題の一つとなっております。

国立国会図書館では、調査及び立法考査局を中心に、このような国政課題に対する国会活動を補佐するため、国会議員の皆様のご個別のご依頼を受けて調査を行い、年間約4万件の調査回答を提供しております。調査に際しては、秘密の厳守と不偏不党はもとより、迅速性と正確性の確保に留意し、国会議員の皆様のご要望に高い水準でお応えできるよう努めております。調査回答は、資料の提供にとどまらず、調査報告書の作成や面談によるご説明等、ご要望に応じて充実に図っております。

また、調査及び立法考査局では、今後想定される国政課題について調査研究を行い、その成果を論文等にとりまとめ、刊行物等の形で提供しております。本誌『レファレンス』は、昭和26年5月創刊の調査及び立法考査局の基幹誌であり、中長期的観点からの政策課題の分析、諸外国の制度比較等の論文を掲載しております。このほか、国政課題の背景・論点を簡潔に解説した『調査と情報—ISSUE BRIEF—』、諸外国の法令の翻訳・解説・審議情報等を掲載した『外国の立法』（季刊版・月刊版）、国の基本的な政策課題や科学技術に係る国政課題に関する各種調査プロジェクトの報告書等も刊行しておりますので、併せてご利用いただければ幸いです。

また、国立国会図書館では、衆議院・参議院と共同で国会会議録検索システムを構築してインターネットを通じて提供するなど、国会発生情報を発信し、国民と国会をつなぐ機能の一翼を担っております。

社会の変化に的確に対応しつつ、国会の補佐機関として一層の信頼をいただけるよう、今後とも努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。